

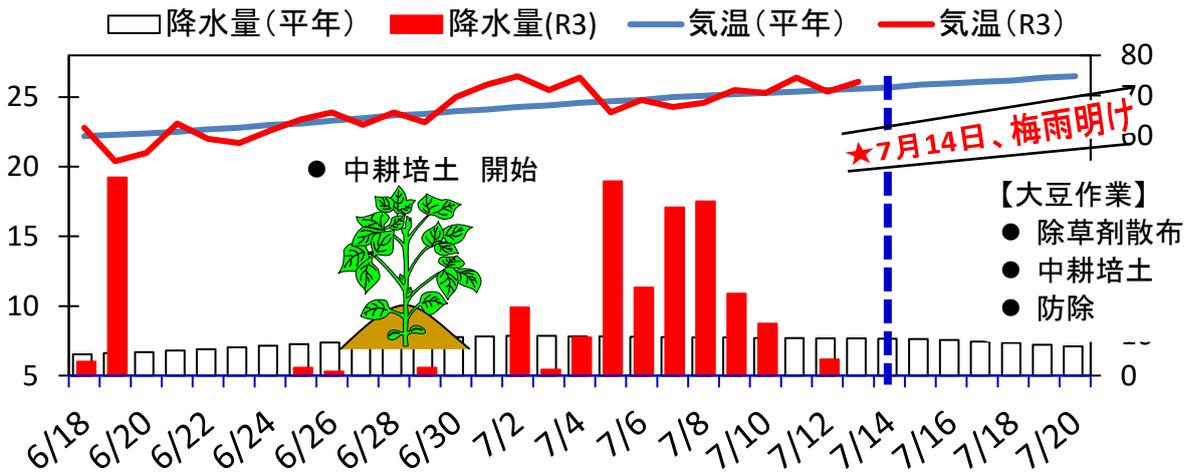


【JA福井県産大豆の復活とさらなる飛躍を目指して】

今年の梅雨明けは7月14日で、平年より9日、昨年より18日早くなりました。

梅雨時期の7月上旬は降水量が多く(平年の2.4倍)、大豆の管理作業が中断していましたが、今後は晴れの日が続くため、大豆の管理作業を再開しましょう。7月下旬には開花期を迎えますので、大豆の生育や雑草の状態に応じた管理を行いましょう。

1. 令和3年産大豆播種後の気象状況



2. 里のほほえみ、高収量・高品質へのポイント

7月の大豆作業は、培土・除草剤散布・防除などがあります。また、今年、7月上旬に雨の日が多く作業が中断していたため、今後、7月下旬にかけて作業が集中します。作業計画を立て遅れないようにしましょう。

7月の作業

中旬

下旬

開花期(培土終了)

普通培土

中耕培土

防除1回目

狭畦密植

除草剤

(ウコンノメイガ)

培土作業

- 培土の高さは、初生葉が埋まる程度。
- 開花期(7月下旬)までに実施。2回の培土でしっかり寄せ。

追肥

- 窒素成分: 3kg/10a
- アグリフラッシュ: 20kg/10a
- 単肥: 尿素・硫安など

除草剤散布

雑草の生育状況に注意して散布。

雨により、雑草の生育が旺盛になっています。培土栽培は、培土作業と併用しながら、狭畦密植は、散布タイミングに注意しましょう。

- 広葉雑草 : 大豆バサグラン
- イネ科雑草 : ポルトフロアブル (混合散布可能)

雑草にしっかり散布する。

